

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム 春のうらら

目標達成計画

作成日: 平成 24年 6月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】		愛媛県				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	35	2か月に1回防火訓練を実施していますが、ご近所の参加や夜間帯に行う等の現実的なシュミレーション訓練を行っていないので不安である	災害時の避難訓練を近所の方々と一緒に実施する。災害時に対する意識を強く持つようにする。	①地元消防団員の方への協力依頼を行う ②実際夜間帯に防火訓練を行う ③地域住民の協力参加 ④自動通報装置の転送の把握を行う	10 か月	御近所の方と一緒に日中を想定して消防署立会いのもと、防火訓練を実施。自動通報装置の転送を実施すると3~5分かかかる事が分かりました。利用者顔なじみの関係性が必要と思いました
2	36	一人ひとりのプライバシーの確保と言葉かけが十分でないこともある	言葉遣いやプライバシーの確保を職員全員で徹底する	職員間でその都度の言葉遣いについてきちんと注意できるようにする。利用者の情報が他の利用者に漏れない様に配慮する。再度プライバシー、人格の尊重など勉強会にて把握し徹底する	3 か月	勉強会にて、プライバシーや個人情報保護に関する基本方針などを説明する。職員同士で、把握し徹底しました。
3	41	利用者や職員によって献立を作成しているが、偏りやカロリーが把握できていない	栄養士による献立の見直しとカロリー計算を実施し、今後の献立の参考にする	栄養士に献立表のカロリー計算を依頼する。アドバイスやカロリー、調理方法など検討する。勉強会を開き、確認周知する	10 か月	献立1週間分のカロリーを計り、栄養士によるカロリー計算を実施しました。ほとんどが1500カロリーをクリアしていました。鉄、亜鉛が少し不足している為、鉄分を増やすようにしました。
4	49	車椅子が多く身体的にも下肢が弱って全員の外出が困難。本人の希望の場所への外出の支援が難しい	全員が参加出来るよう外出の工夫をする。又、希望の場所への外出を実施する	同じ場所へ2グループに分けて外出するか職員あるいは、家族など依頼など工夫をする。前月に次の外出(買い物)日を決めて本人の希望の場所へ外出できるように支援する	6 か月	地域のふるさと祭りなど、2回に分けて参加し、個別援助がゆっくり出来ました。遠足もユニットごとになりました。
5						

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。